

悠久の歴史浪漫 東洋と西洋をつないだ シルクロード教養講座3回シリーズ開催

会場 札幌市民交流プラザ内2F SCARTS(スカーツ)スタジオ
札幌市中央区北1条西2丁目(地下鉄「大通り駅」から西2丁目地下歩道より直結)

シルクロードの名称は、ドイツの地理学者リヒトホーフエンが19世紀に著書の中で使い始め、その後弟子のスウェーデンの地理学者ヘーデンが自身の旅行記の書名として用い、これが1938年に「The Silk Road」の題名で英訳され広く知られるようになりました。

1980年4月に始まったNHK特集は喜多郎の悠久の時を感じさせるシンセサイザーのテーマ音、石坂浩二のナレーションにより一大ブームを巻き起こし中国・長安(西安)からパキスタン国境のパミール高原へと毎月1回1年放送され、その後ローマへと至るインド、イラン、イラクを訪ねた続編が作られました。

今回は、このシルクロードを3回に分け、それぞれのテーマで歴史、民俗、文化をご紹介します。入場無料ですのでお気軽にお誘い合わせの上ご参加ください。



中国シルクロードを代表する訪問地トルファン

3/14 木 **ウズベキスタンの職人文化** シルクロードの伝統を受け継ぐ親方たち

時間 午後1時30分～3時

講師 菊田 悠(北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター助教)

東京大学大学院 文化人類学科 博士号取得。北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターにて研究員、助教を務める。専門は現代中央アジア定住地域の社会変化、宗教、ジェンダー、手工芸など。



菊田 悠さん

4/12 金 **絲綢之路 東洋の起点** 魅力の宝庫 中国シルクロード

時間 午後1時30分～3時

講師 多田洲一(行政書士、道新文化センター中国語講師)

大学で中国語に興味をもったことから、北京での語学留学を経験し、大学院では中国経済に関する研究を行う。その後、中国の大学に勤務し、言語と文化の両方面からの教育活動に従事。一方で中国各地を旅行し、これまでに数々の名所旧蹟を訪ねている。



多田洲一さん

5/16 木 **悠久の歴史を持つシルクロードの中継地** ペルシア、三つの帝国 (アケメネス朝、ササン朝、サファヴィー朝)

時間 午後1時30分～3時

講師 手嶋兼輔(歴史文化研究家)

在ギリシャ日本大使館で領事事務。北海道工大・東北芸工大にて研究と教育に従事。2000年より長沼町にて田舎暮らし。旅と読書と歴史研究を楽しむ。中心テーマは地中海・ユーラシアの歴史と文化。



手嶋兼輔さん

西安・敦煌・トルファン シルクロードの古都を巡る旅 10日間

6/19(火)発 ¥388,000 (1名利用追加料金 ¥75,000)

日程 新千歳→上海→西安③(兵馬俑、陝西省博物館、夢長安)→敦煌③(莫高窟、鳴沙山、月牙泉、陽關)→柳園→トルファン②(高昌古城、交河古城、火焰山)→ウルムチ→上海①→千歳

シルクロードの始まりを飾る3つの都市をそれぞれ連泊で巡ります。街ごとに全く異なる文化と風土、その変化を感じる旅です。

「地獄の門」も訪ねる トルクメニスタン周遊の旅 8日間

4/9(火)発 ¥365,000 (1名利用追加料金 ¥40,000)

日程 新千歳→サマルカンド①→ブハラ①→マリ①→アシガバード①→ダウルヴァザ→テント①→ウルゲンチ①→タシケント→(機中泊)→新千歳

待望の札幌発着でのトルクメニスタンの旅となります。40年以上も燃え続ける「地獄の門」を始め、中央アジア最大ともいわれるメルブ遺跡など見所が満載です。

隊商の道 サマルカンド・ブハラ・ヒワの旅 8日間

4/9(火)発 ¥265,000 (1名利用追加料金 ¥40,000)

日程 新千歳→サマルカンド②→ブハラ②→ヒワ②→ウルゲンチ→タシケント→(機中泊)→新千歳

シルクロードの要衝、サマルカンド、ブハラ、ヒワを効率よくご案内いたします。サマルカンドでは政府主催の歓迎セレモニー「サマルカンドの夕べ」をお楽しみいただきます。

華麗なるペルシャの旅 8日間

4/5、5/10、6/7(金)発 ¥265,000 (1名利用追加料金 ¥35,000)

日程 成田→(機中泊)→ドーハ→テヘラン①(考古学博物館、宝石博物館)→シラーズ①→ペルセポリス①→イスファハン②(イマーム広場)→テヘラン→(機中泊)→ドーハ→成田

古代ペルシャ大周遊の旅 11日間

5/10(金)、6/10(月)発 ¥298,000 (1名利用追加料金 ¥60,000)

日程 成田→(機中泊)→ドーハ→テヘラン①(考古学博物館、宝石博物館)→アフズ②(チュガザンビル、火の山ダシュクー)→シラーズ②(ペルセポリス)→パサルガダエ→ヤズド①→イスファハン②→テヘラン→(機中泊)→ドーハ→成田